令和 7(2025)年度

FD 活動報告書

東北生活文化大学

東北生活文化大学短期大学部

目　次

はじめに……1

1．令和 7（2025）年度 FD 活動概要……3

1）令和 7（2025）年度　FD 委員会活動……3

① 組織体制……3

② 委員会の開催状況……3

2．令和 7（2025）年度の FD 活動……4

1）授業評価アンケートの実施……4

2）公開授業期間の設定……4

3）FD および SD セミナーの開催……4

4）FD 活動報告書の編集、刊行……6

3．資料……8

1）授業評価アンケート実施・回答状況一覧……8

2）担当科目の振り返りおよびその他の FD 活動……15

おわりに……29

はじめに

東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部

学長　前田昌彦

「はじめに」について、先ず、おことわりしなければなりません。この令和 7 年度 FD 活動報告書の内容については、自身の学長就任前の活動の報告が主たるものであることから、令和 7 年度の FD 活動の全体像は俯瞰的にしか把握できていないこと、また、ここに述べることが必ずしも報告書の項目や報告内容を反映したものではないということをご理解の上お読みいただきますようお願いいたします。

Faculty Development という言葉が我が国の大学運営に定着して久しいが、その実施については当初は手探り的で受動的なものであったと記憶しています。特に、FD 活動の典型的な活動例として扱われる「学生による授業評価アンケート」については、大学教員側に戸惑いや抵抗感があったと言われています。それは学生側にも言えることで、圧倒的に立場の弱い学生が、教授の授業に対して評価を下していいものだろうかというためらいがあったようです。しかし、そもそも国から設置認可を受けている大学は、高等教育機関として学生に一定水準以上の教育を提供する責任を負わねばならず、FD 活動を通して授業方法、評価方法の改善を不断に図り、その教育の質を保証し、向上させることは至極当然のことであり、むしろ大学への FD 活動の導入や義務化（2008 年）の施策は遅きに失した感があります。そして、その後 2012 年に文科省による Active Learning の大学への導入がありました。これは DP の根本的な再構築につながる大きな変革であったと言えます。

大学は、個々人の研究者の集まりであって、その評価も個人が負うといった風土がある中で、FD 活動は、専攻、学科、学部単位の組織全体の教育改善が求められています。授業公開やシラバス改善、カリキュラムの検証、さまざまの教員研修など組織的な取り組みが求められていることは周知のとおりです。さらに、DX（デジタルトランスフォーメーション）など社会の変化や社会から求められるものに柔軟に対応した、教育の質向上、大学運営の高度化への組織的な取り組みや問題の共有が求められています。

本学では、ラーニングポートフォリオやティーチングポートフォリオの一早い実施に見られるように、本学の現在の FD への取り組み状況から推察すれば、FD 活動の重要性に対する意識は全教員に十分共有されていると考えています。早期から長年にわたり FD 活動に取り組んでこられた教職員の各位に敬意を表したいと思います。

今後は、授業技術を向上させることに傾注するばかりでなく、アクティブラーニングを含む Student-centered Learning と言われる学生中心の学習に向けた本格的な取り組みや、Outcome-Based Education(OBE)という学修成果基盤型教育への対応が重視されます。本学の FD に対する弛まぬ活動が期待されるところです。

末筆にはなりましたが、本報告書の発行に至るまでの FD 委員会委員各位のご尽力に対し心より感謝申し上げる次第です。

1．令和 7（2025）年度 FD 活動概要

令和 7（2025）年度における東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部における FD 活動としては、以下のものを挙げることができる。それは、①授業受講者による授業評価アンケートの実施、②教員相互に授業を参観、検討等を行う公開授業期間の設定、③新任教員、学内の研究奨励受賞者、授業評価アンケート高評価者を講師とした、教員セミナー（FD セミナー）の実施、④各種 FD 活動の総括を報告書として編集・刊行、である。

本学 FD 活動は、東北生活文化大学と東北生活文化大学短期大学部とにわたって設置されている F 委員会によって企画、実施されている。各学部、学科によって多様な学生たちとかかわる教員の専攻や研究テーマもそれだけ多岐にわたる。多様な研究、教育に携わるすべての教員が求める FD 活動を構想することが、難しい課題であると同時に、本学独自の特色ある FD 活動を後ろ支えする原動力ともなっている。

1） 令和 7（2025）年度 FD 委員会活動

① 組織体制

令和 7（2025）年度の FD 委員会は、大学教員、短大教員、事務部職員の 11 名で構成され、先に挙げた各種活動の企画および運営にあたった。

委員長	:鈴木裕行	（家政学科　教授　副学長）
副委員長	:伊勢周平	（美術表現学科　講師）
委員	:水谷　浩	（家政学科　服飾文化専攻　講師）
〃	:高橋　文	（家政学科　健康栄養学専攻　准教授）
〃	: 山口刀也	（美術表現学科　講師）（R7. 9.30 まで）
〃	:益田浩司	（生活文化学科　健康栄養学専攻　教授）
〃	:伊藤利恵	（生活文化学科　子ども生活専攻　准教授）
〃	:高橋　賢	（IR 室　特任教授）
〃	:白﨑隆典	（事務部　企画課長）
〃	:熊谷武志	（事務部　教務課長）
〃	:黒澤宜子	（事務部　教務課主任）

② 委員会の開催状況

第1回　委員の確認、令和 6（2024）年度の活動報告書の作成について、令和 7（2025）年度の活動内容について、委員の係分担、学生による授業評価アンケートの返却について、教員セミナーの実施について、公開講座に関して、授業評価アンケート実施要綱および規程の確認・見直しについて、令和 6（2024）年度「学生による授業改善アンケート」授業評価優秀者の選考について（令和 7 年 4 月 30 日（火）　16:20～17:50）

第2回　令和 6（2024）年度「学生による授業改善アンケート」授業評価優秀者の選考、令和 7（2025）年度授業評価アンケートの準備状況確認、教員等セミナーの実施についての確認、FD 関連セミナー・シンポジウムの参加について、令和 6 年度 FD 活動報告書について（令和 7 年 5 月28日（水）14:40～16:10）

第3回　今後の教員セミナーの日程について、SD 研修としての講師推薦について（メール会議：令和 7 年 10 月 24 日（金）～11 月 4 日(火) 13:00）

その他

・FD ネットワークつばさ令和 7 年度　FD 協議会　6 月 13 日（金）（オンライン参加）

・FD ネットワークつばさ　週刊授業改善エッセイ執筆

2.　令和 7（2025）年度の FD 活動

1）　授業評価アンケートの実施

本年度の授業評価アンケートは、各授業最終時およびその後 1 週間の間に実施された。対象科目は、専任・非常勤を問わず受講者 10 名以上の全授業科目とした。なお、受講者数 10 名未満で実施されたアンケート結果については参考に留めることとした。昨年度と同様の方法で、質問紙を配布・回収するアンケート形式を採用した。

＜授業評価アンケート回答期間＞

・原則として、対象科目の最終授業時に実施する。

2）公開授業期間の設定

例年と同様に公開授業実施期間を設け、専任・非常勤を問わず授業の公開を依頼した。また、全教職員・非常勤講師に対して積極的な授業への参観を依頼し、参観後は担当教員と参観者との情報交換・検討会を依頼した。その時間が取れない場合は授業後に「参観メモ」を授業担当者に提出することとした。

前述の授業評価アンケート同様、教員の教授能力・技能の向上に活かされ、また他学科・他専攻での学習内容に対して相互理解を得る機会ともなった。

＜公開授業実施期間＞

・前期｜令和 7 年　6 月 23 日(月)～ 6 月 27 日(金)

・後期｜令和 7 年 11 月 10 日(月)～11 月 14 日(金)

3）FD セミナーの開催

本学では、教員間の教育・研究の相互理解や教職員に共通の課題に関わる研修の機会として、各種セミナーを開催している。令和 7（2025）年度は FD セミナーとして、新任教員による教育・研究紹介、前年度授業評価アンケートの評価優秀者による授業紹介、学内研究奨励賞および教育改革推進研究奨励賞受賞者による研究発表を計 5 回実施した。

○ FD セミナー

＜新任教員による研究紹介＞

令和 7 年 6 月 11 日（水） 教授会終了後　 6 号館大講義室

生活文化学科　　准教授　伊藤利恵　先生

生活文化学科　　講　師　高瀬清美　先生

令和 7 年 7 月 9 日（水） 教授会終了後　 6 号館大講義室

美術学部　　教　授　虎尾　裕　先生

美術学部　　教　授　三浦忠士　先生

＜学内研究奨励賞受賞者・教育改革推進研究奨励賞受賞者による発表＞

①令和 8 年 1 月 14 日（水）教授会終了後　 6 号館大講義室

教育改革推進研究奨励賞受賞者

家政学部　　講　師　　菊地紗代　先生（研究代表者：何水蘭講師退職のため）

「SDGsの課題解決を目指した産学連携教育による企業制服開発研究」

②令和 8 年 2 月 18 日（水）教授会終了後　 6 号館大講義室

教育改革推進研究奨励賞受賞者

家政学部　　教　授　　中尾真理　先生

「私たちが作るグローバルな嚥下食標準化ルール

：日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類 202 と

IDDSI フレームワークの対照表完成に向けた研究」

家政学部　　講　師　　伊豆田友美　先生

「コーヒー殻の再利用によるケラチン繊維の染色性」

＜授業評価優秀者による授業紹介＞

令和 8 年 3 月 18 日（水）教授会（進級認定）終了後　6 号館大講義室

家政学部　　講　師　水谷浩先生　　「消費生活論」

美術学部　　准教授　佐々木輝子先生　「染織Ⅱ」

生活文化学科　教　授　永沼孝子先生　　「食品学実験」

○ SD セミナー

令和 8 年　1 月　9 日（金）　16:20～　　百周年記念棟ホール　財政説明会

○ SD 研修

令和 7 年　9 月　10 日（水）　教授会終了後　　6 号館大講義室

令和 7 年度東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部、コンプライアンス及び科学内手続きに関する研修会

4）FD活動報告書の編集、刊行

令和 7 年度の授業評価アンケートの結果に関する報告や、公開授業または教員セミナーでの発表を「FD 活動報告書」として編集した。当年度の報告書も、昨年度までと同様、全教職員へ電子データで配付する。

3. 資料

1）授業評価アンケート実施・回答状況一覧

質問内容は、①シラバスのとおりに授業が進んだ、②授業内容や教え方はわかりやすかった、③教材や配布資料は適切だった、④難易度や進行スピードは適切だった、⑤この授業の目標を理解し、それを達成できた、であり各 5 点満点で回答してもらった。総合評価は質問①～⑤の総合平均値とした。なお、全体の回答率は大学 84.4%、短大 87.2%（それぞれ総回答数÷総履修者数）であった。

＜大学:科目順＞

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	質問①	質問②	質問③	質問④	質問⑤	総合評価
アニメーションⅠ	23	19	82.6%	4.74	4.26	4.21	4.37	4.37	**4.39**
アニメーションⅢ	38	29	76.3%	4.62	4.28	4.41	4.59	4.55	**4.49**
アパレルCADⅠ	18	17	94.4%	4.76	4.76	4.82	4.65	4.82	**4.76**
アパレルCADⅡ	9	7	77.8%	5	5	5	5	4.86	**4.97**
アパレル生産実習	11	10	90.9%	4.9	5	5	5	4.8	**4.94**
アパレル生産実習	14	14	100.0%	4.5	4.79	4.79	4.79	4.79	**4.73**
アパレル製図法Ⅰ(平面)	15	11	73.3%	4.82	4.82	4.91	4.82	4.91	**4.86**
アパレル製図法Ⅱ(応用)	14	11	78.6%	4.91	4.91	4.91	4.91	4.91	**4.91**
アパレル設計論	14	14	100.0%	4.71	4.57	4.71	4.64	4.71	**4.67**
運動生理学	43	40	93.0%	4.75	4.78	4.8	4.78	4.75	**4.77**
英会話Ⅰ	57	49	86.0%	4.84	4.59	4.76	4.53	4.55	**4.65**
英会話Ⅰ	44	42	95.5%	4.69	4.60	4.62	4.57	4.48	**4.59**
英会話Ⅱ	40	32	80.0%	4.81	4.56	4.69	4.44	4.75	**4.65**
英語Ⅰ	113	104	92.0%	4.78	4.67	4.68	4.70	4.58	**4.68**
英語Ⅱ	64	57	89.1%	4.79	4.68	4.72	4.74	4.63	**4.71**
栄養学実験	42	40	95.2%	4.8	4.6	4.78	4.68	4.65	**4.70**
栄養管理論	47	40	85.1%	4.7	4.73	4.73	4.69	4.67	**4.70**
栄養教育実習事前事後指導	5	5	100.0%	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	**4.80**
栄養教育論	43	40	93.0%	4.65	4.7	4.7	4.6	4.7	**4.67**
栄養指導論実習	38	34	89.5%	3.71	3.29	3.47	3.53	3.59	**3.52**
栄養情報処理演習	43	38	88.4%	4.66	4.61	4.66	4.66	4.74	**4.67**
栄養生化学	42	35	83.3%	4.74	4.6	4.63	4.66	4.63	**4.65**
応用栄養学Ⅰ	48	43	89.6%	4.63	4.60	4.63	4.65	4.60	**4.62**
応用栄養学Ⅱ	42	38	90.5%	4.71	4.71	4.68	4.71	4.68	**4.70**
応用栄養学実習Ⅰ	43	39	90.7%	4.67	4.62	4.74	4.64	4.69	**4.67**
応用栄養学実習Ⅱ	41	34	82.9%	4.74	4.65	4.71	4.68	4.59	**4.67**
応用調理学実習Ⅰ	43	38	88.4%	4.39	4.21	4.5	4.24	4.68	**4.40**
応用調理実習Ⅱ	45	40	88.9%	4.2	4.15	4.25	4.13	4.38	**4.22**
絵画基礎Ⅰ	57	46	80.7%	4.59	4.48	4.46	4.30	4.48	**4.46**
絵画基礎Ⅱ	58	43	74.1%	4.81	4.79	4.67	4.86	4.72	**4.77**
解剖生理学Ⅰ	40	33	82.5%	4.91	4.64	4.67	4.42	4.39	**4.61**
解剖生理学Ⅱ	47	44	93.6%	4.66	4.52	4.66	4.57	4.52	**4.59**
解剖生理学実験	39	35	89.7%	4.77	4.71	4.69	4.69	4.74	**4.72**
化学Ⅰ	46	41	89.1%	4.61	4	4.37	3.90	4.29	**4.23**
化学Ⅰ	49	48	98.0%	4.75	3.94	4.52	3.85	3.98	**4.21**
化学Ⅱ	10	7	70.0%	4.71	4.57	4.57	4.71	4.57	**4.63**
化学Ⅱ	46	38	82.6%	4.61	4.16	4.32	4.03	4.11	**4.25**
家政学原論	56	46	82.1%	4.54	4.22	4.33	4.35	4.39	**4.37**
家政特別講義Ⅰ	40	37	92.5%	4.38	4.51	4.54	4.57	4.51	**4.50**
家政特別講義Ⅲ(臨地実習演習)	36	34	94.4%	4.38	4.29	4.29	4.38	4.38	**4.34**
家政特別講義Ⅳ	36	29	80.6%	4.45	4.41	4.38	4.41	4.45	**4.42**
学校栄養指導論	5	5	100.0%	5	5	5	5	4.8	**4.96**
学校食育概論	5	5	100.0%	5	5	5	5	4.8	**4.96**
家庭経営学	14	13	92.9%	4.77	4.23	4.15	4.31	3.92	**4.28**
環境学	34	27	79.4%	4.89	4.85	4.89	4.78	4.70	**4.82**
起業・会社経営論	12	2	16.7%	2	2	1.5	2	1.5	**1.80**
基礎栄養学(健康)	41	36	87.8%	4.61	4.44	4.58	4.25	4.28	**4.43**
基礎栄養学(服飾)	9	9	100.0%	4.66	3.56	3.89	3.89	3.78	**3.96**
基礎調理学実習Ⅱ	45	44	97.8%	4.59	4.14	4.45	4.18	4.52	**4.38**
キャリア開発Ⅰ	42	42	100.0%	4.60	4.12	4.43	4.19	4.17	**4.30**
キャリア開発Ⅱ	11	10	90.9%	4.8	4.7	4.7	4.7	4.6	**4.70**
キャリア開発Ⅲ	18	16	88.9%	4.25	4.13	4.19	4.06	4.38	**4.20**
キャリア開発Ⅳ	36	24	66.7%	4.33	4.29	4.29	4.29	4.25	**4.29**
キャリア開発Ⅳ	10	10	100.0%	4.1	3.8	3.9	4	4.1	**3.98**
キャリアサポートⅠ	68	58	85.3%	4.55	4.48	4.52	4.47	4.47	**4.50**

キャリアサポートⅡ	35	33	94.3%	4.61	4.55	4.55	4.58	4.42	**4.54**
キャリア開発Ⅱ	41	37	90.2%	4.78	4.70	4.76	4.68	4.73	**4.73**
キャリア開発Ⅲ	31	27	87.1%	4.30	4.22	4.26	4.19	4.22	**4.24**
給食管理学	42	40	95.2%	4.68	4.58	4.6	4.35	4.48	**4.54**
給食管理臨地実習Ⅰ・Ⅱ	36	36	100.0%	4.47	4.33	4.44	4.44	4.5	**4.44**
給食経営学	36	22	61.1%	4.41	4.41	4.41	4.41	4.36	**4.40**
教育課程論	31	30	96.8%	4.83	4.87	4.87	4.83	4.8	**4.84**
教育原理	39	34	87.2%	4.94	4.65	4.85	4.71	4.65	**4.76**
教育心理学	31	31	100.0%	4.90	4.77	4.77	4.81	4.87	**4.82**
教育制度論	28	27	96.4%	4.67	4.48	4.59	4.59	4.44	**4.55**
教育相談	28	27	96.4%	4.63	4.51	4.41	4.59	4.52	**4.53**
教育方法論	34	29	85.3%	4.76	4.45	4.48	4.59	4.41	**4.54**
教職概論	50	45	90.0%	4.73	4.67	4.67	4.6	4.42	**4.62**
教職実践演習（栄養教諭）	5	5	100.0%	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	**4.80**
教職実践演習（中・高）	19	19	100.0%	4.79	4.68	4.74	4.53	4.68	**4.68**
グラスアートⅠ	25	25	100.0%	4.72	4.6	4.64	4.72	4.6	**4.66**
グラスアートⅡ	6	6	100.0%	5	5	5	5	5	**5.00**
経済学	16	14	87.5%	4.86	4.79	4.93	4.86	4.71	**4.83**
健康栄養学総合演習Ⅰ	37	36	97.3%	4.78	4.58	4.67	4.64	4.5	**4.63**
健康栄養学総合演習Ⅲ	36	32	88.9%	4.69	4.75	4.75	4.78	4.72	**4.74**
工芸基礎Ⅰ	58	50	86.2%	4.86	4.66	4.64	4.68	4.54	**4.68**
工芸基礎Ⅱ	49	37	75.5%	4.92	4.84	4.89	4.76	4.84	**4.85**
公衆衛生学Ⅰ	37	35	94.6%	4.29	3.94	3.97	4.06	3.97	**4.05**
公衆衛生学Ⅱ	35	32	91.4%	4.34	4	3.88	4.13	4.06	**4.08**
公衆栄養学	37	33	89.2%	4.42	4.42	4.39	4.33	4.33	**4.38**
公衆栄養学実習	37	37	100.0%	4.49	4.38	4.38	4.41	4.43	**4.42**
公衆栄養学臨地実習	36	33	91.7%	4.73	4.70	4.67	4.70	4.70	**4.70**
コーディネート論	11	5	45.5%	4.8	4.8	4.6	4.8	4.6	**4.72**
国語表現法	75	62	82.7%	4.82	4.79	4.82	4.79	4.79	**4.80**
コンテンツデザインⅠ	30	26	86.7%	2.85	3.15	3.69	3.62	3.46	**3.35**
コンテンツデザインⅡ	25	16	64.0%	3.69	3.94	4.38	4.19	4.13	**4.07**
視覚デザインⅠ	29	22	75.9%	4.82	4.82	4.82	4.77	4.82	**4.81**
視覚デザインⅡ	13	9	69.2%	5	4.89	4.89	4.89	4.78	**4.89**
視覚デザインⅢ	27	21	77.8%	4.57	4.24	4.24	4.38	4.24	**4.33**
視覚デザインⅣ	30	25	83.3%	4.72	4.48	4.52	4.76	4.64	**4.62**
色彩学	15	13	86.7%	4.85	4.62	4.54	4.85	4.69	**4.71**
色彩学	19	17	89.5%	4.76	4.76	4.82	4.53	4.59	**4.69**
漆芸Ⅰ	29	23	79.3%	4.70	4.74	4.83	4.65	4.65	**4.71**
漆芸Ⅱ	23	14	60.9%	4.86	4.93	4.86	4.71	4.79	**4.83**
漆芸Ⅲ	6	4	66.7%	4.75	4.75	5	5	5	**4.90**
漆芸Ⅳ	4	4	100.0%	5	4.75	4.75	4.75	4.75	**4.80**
社会学	29	14	48.3%	4.57	4.43	4.5	4.43	4.29	**4.44**
社会学Ⅰ	49	22	44.9%	4.86	4.68	4.82	4.73	4.64	**4.75**
社会福祉論	41	36	87.8%	4.39	4.14	4.28	3.92	4.19	**4.18**
写真Ⅰ	32	25	78.1%	4.68	4.6	4.64	4.56	4.6	**4.62**
写真Ⅱ	25	18	72.0%	4.83	4.78	4.83	4.78	4.83	**4.81**
住居学	36	30	83.3%	4.9	4.97	4.93	4.93	4.93	**4.93**
住居デザイン	7	6	85.7%	5	5	5	5	5	**5.00**
住文化論	9	7	77.8%	4.86	5	5	5	5	**4.97**
生涯学習概論	14	13	92.9%	4.85	4.46	4.46	4.46	4.54	**4.55**
消費生活論	18	17	94.4%	4.12	4.29	4.41	4.41	4.29	**4.30**
情報基礎学	41	36	87.8%	4.1	3.31	3.89	3	3.64	**3.59**
情報処理Ⅰ	18	16	88.9%	4.63	4.63	4.63	4.63	4.63	**4.63**
情報デザイン	11	9	81.8%	5	4.89	4.89	5	4.89	**4.93**
食生活論	55	47	85.5%	4.53	4.49	4.55	4.64	4.47	**4.54**
食品衛生学	37	34	91.9%	4.44	4.03	4.12	4.18	4.24	**4.20**
食品学各論	45	39	86.7%	4.59	4.10	4.26	3.79	4.31	**4.21**
食品学実験Ⅰ	41	38	92.7%	4.21	3.71	4.29	3.89	4.13	**4.05**

食品学実験Ⅱ	40	37	92.5%	4.57	4.27	4.35	4.32	4.30	**4.36**
食品学総論	42	37	88.1%	4.76	4.73	4.73	4.73	4.73	**4.74**
食品加工学	44	40	90.9%	4.18	4.03	4.08	3.9	3.95	**4.03**
食品加工実習	42	31	73.8%	4.42	3.74	3.87	3.87	4.03	**3.99**
食品機能学	34	34	100.0%	4.56	4.32	4.41	4.44	4.35	**4.42**
食文化論	47	34	72.3%	4.5	4.32	4.32	4.26	4.38	**4.36**
食物衛生学実験	34	33	97.1%	4.58	4.55	4.55	4.52	4.48	**4.54**
心理学Ⅰ	76	57	75.0%	4.54	4.56	4.68	4.63	4.47	**4.58**
心理学Ⅱ	66	53	80.3%	4.60	4.57	4.60	4.62	4.51	**4.58**
スタートアップソーイング	15	10	66.7%	4.9	5	4.8	4.7	4.8	**4.84**
スタディスキルズ	56	47	83.9%	4.79	4.66	4.68	4.72	4.62	**4.69**
スタディスキルズ	41	36	87.8%	4.42	4.53	4.53	4.5	4.5	**4.50**
スタディスキルズ	14	9	64.3%	4.44	4.56	4.56	4.56	4.33	**4.49**
スポーツ	75	57	76.0%	4.65	4.49	4.58	4.60	4.63	**4.59**
スポーツと食事	35	27	77.1%	5	5	5	4.96	4.89	**4.97**
生化学Ⅰ	42	38	90.5%	4.61	4.16	4.63	4.18	4.13	**4.34**
生化学Ⅱ	42	41	97.6%	4.68	4.51	4.63	4.56	4.59	**4.59**
生化学実験	39	34	87.2%	4.65	4.59	4.59	4.59	4.44	**4.57**
生活文化論	23	23	100.0%	4.61	4.17	4.48	4.48	4.04	**4.36**
生徒指導の理論と方法A	31	17	54.8%	4.53	4.41	4.65	4.47	4.47	**4.51**
生物学Ⅰ	88	82	93.2%	4.60	4.54	4.56	4.48	4.56	**4.55**
生物学Ⅱ	89	93	104.5%	4.67	4.63	4.59	4.58	4.56	**4.61**
西洋服装史	13	8	61.5%	4.88	4.88	4.75	4.63	4.88	**4.80**
セミナーⅠ	32	28	87.5%	3.79	3.75	3.71	3.75	3.71	**3.74**
セミナーⅡ	36	31	86.1%	4.68	4.74	4.71	4.68	4.68	**4.70**
染織Ⅰ	16	13	81.3%	5	4.92	5	4.92	4.85	**4.94**
染色学実習	13	11	84.6%	4.91	5	5	4.91	5	**4.96**
染色加工学	17	16	94.1%	4.88	4.75	4.81	4.88	4.81	**4.83**
染色加工学実験	15	15	100.0%	4.87	4.93	4.93	4.87	4.93	**4.91**
地域栄養活動演習Ⅰ	36	29	80.6%	4.72	4.69	4.69	4.69	4.66	**4.69**
地域栄養活動演習Ⅱ	36	33	91.7%	4.73	4.67	4.70	4.67	4.64	**4.68**
地域工芸論	50	43	86.0%	4.60	4.14	4.14	4.35	4.21	**4.29**
地域創生演習Ⅰ	55	47	85.5%	4.62	4.34	4.60	4.72	4.60	**4.58**
地域創生演習Ⅱ	58	35	60.3%	4.91	4.83	4.77	4.74	4.74	**4.80**
彫刻Ⅰ	25	25	100.0%	4.92	4.8	4.8	4.84	4.88	**4.85**
彫刻Ⅱ	11	11	100.0%	4.82	4.91	4.82	4.82	4.55	**4.78**
彫刻Ⅲ	9	7	77.8%	3.57	4.43	4.43	3.43	4.29	**4.03**
彫刻Ⅳ	5	4	80.0%	4.75	4.5	4.25	4	4	**4.30**
彫刻基礎Ⅰ	59	49	83.1%	4.78	4.31	4.53	4.43	4.53	**4.52**
彫刻基礎Ⅱ	25	20	80.0%	4.8	4.55	4.55	4.65	4.7	**4.65**
調理科学実験	38	31	81.6%	4.35	3.84	4.06	4.10	4.26	**4.12**
調理科学論	42	36	85.7%	4.5	4.08	4.14	3.81	4.25	**4.16**
データサイエンス数学	19	9	47.4%	3.78	4.44	4.44	4.33	4.56	**4.31**
テキスタイルデザインⅠ	14	10	71.4%	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	**4.90**
デザイン概論	42	32	76.2%	4.75	4.56	4.59	4.59	4.41	**4.58**
デザイン基礎Ⅰ	58	44	75.9%	4.52	4.64	4.59	4.34	4.52	**4.52**
デザイン基礎Ⅱ	51	43	84.3%	4.95	4.86	4.86	4.70	4.84	**4.84**
哲学Ⅰ	59	38	64.4%	4.61	4.53	4.5	4.53	4.42	**4.52**
哲学Ⅱ	39	25	64.1%	4.84	4.72	4.72	4.76	4.56	**4.72**
陶芸Ⅰ	23	20	87.0%	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	**4.90**
陶芸Ⅱ	21	18	85.7%	4.94	4.94	4.94	4.94	4.78	**4.91**
陶芸Ⅲ	17	17	100.0%	4.94	4.94	4.88	5	5	**4.95**
統計学	53	44	83.0%	4.02	3.95	4.18	4.07	3.98	**4.04**
道徳教育の指導法	25	15	60.0%	3.87	3.67	3.73	3.6	3.73	**3.72**
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	31	31	100.0%	4.77	4.51	4.48	4.71	4.68	**4.63**
日本画Ⅰ	34	31	91.2%	4.77	4.81	4.81	4.74	4.65	**4.76**
日本画Ⅱ	37	32	86.5%	4.78	4.81	4.81	4.78	4.69	**4.77**
日本画Ⅲ	4	4	100.0%	5	5	5	5	5	**5.00**

日本画Ⅳ	4	3	75.0%	5	5	5	5	5	**5.00**
日本国憲法	102	62	60.8%	4.44	3.85	4.27	4.19	3.90	**4.13**
日本服装史	13	12	92.3%	4.83	4.58	4.67	4.5	4.83	**4.68**
人形Ⅰ	33	24	72.7%	4.79	4.75	4.75	4.58	4.71	**4.72**
人形Ⅱ	20	16	80.0%	4.56	4.69	4.38	4.38	4.5	**4.50**
博物学概論	14	14	100.0%	4.79	4.93	4.86	4.71	4.64	**4.79**
博物館教育論	15	12	80.0%	4.67	4.5	4.5	4.33	4.25	**4.45**
博物館経営論	13	13	100.0%	5	4.92	5	4.85	4.85	**4.92**
博物館実習Ⅰ	14	13	92.9%	5	5	5	5	4.77	**4.95**
博物館実習Ⅱ(見学実習を含む)	14	13	92.9%	5	4.77	4.92	4.46	4.85	**4.80**
博物館資料保存論	9	9	100.0%	4.89	4.89	4.89	4.89	4.89	**4.89**
博物館展示論	14	13	92.9%	5	5	4.92	4.92	4.77	**4.92**
版画Ⅱ	23	19	82.6%	4.89	4.79	4.68	4.84	4.84	**4.81**
美学Ⅰ	48	37	77.1%	4.65	4.14	4.08	4.3	4.3	**4.29**
美学Ⅱ	46	43	93.5%	4.37	3.65	3.74	4	3.84	**3.92**
美術	31	24	77.4%	4.71	4.75	4.75	4.75	4.70	**4.73**
美術科教育法Ⅰ	16	13	81.3%	4.54	4.31	4.54	4.31	4.23	**4.39**
美術科教育法Ⅱ	15	11	73.3%	4.91	4.91	4.91	4.91	4.91	**4.91**
美術科教諭試験対策講座Ⅰ	15	15	100.0%	4.27	4.13	4.07	4.13	4.07	**4.13**
美術鑑賞Ⅰ	48	35	72.9%	4.69	3.91	4.29	4.31	4.03	**4.25**
美術史Ⅰ	53	40	75.5%	4.2	3.85	4.2	4.15	3.97	**4.07**
美術史Ⅱ	54	44	81.5%	4.64	4.30	4.39	4.39	4.34	**4.41**
美術特別講義Ⅱ(美術解剖学)	30	25	83.3%	4.88	4.88	4.76	4.8	4.72	**4.81**
美術特別講義Ⅲ	29	23	79.3%	4.83	4.17	4.57	4.30	4.43	**4.46**
美術特別講義Ⅳ	18	17	94.4%	4.82	4.59	4.71	4.59	4.41	**4.62**
美術特別講義Ⅴ	16	14	87.5%	4.86	4.71	4.79	4.86	4.64	**4.77**
微生物学	42	40	95.2%	4.43	3.85	3.83	3.95	4	**4.01**
被服学	20	16	80.0%	4.75	4.81	4.88	4.75	4.81	**4.80**
被服機構・衛生学	17	14	82.4%	4.79	4.36	4.43	4.21	4.36	**4.43**
被服材料学	14	13	92.9%	4.85	4.77	4.85	4.77	4.77	**4.80**
被服材料学実験	18	16	88.9%	4.88	4.81	4.88	4.81	4.75	**4.83**
被服整理学実験	18	16	88.9%	4.88	4.94	4.88	4.88	4.88	**4.89**
被服繊維学	15	13	86.7%	4.85	4.69	4.85	4.62	4.54	**4.71**
被服繊維学実験	15	13	86.7%	4.92	4.77	4.77	4.85	4.77	**4.82**
被服造形実習Ⅰ	17	17	100.0%	4.12	4.47	4.71	4.18	4.71	**4.44**
被服造形実習Ⅱ	17	16	94.1%	4.56	4.73	4.75	4.63	4.75	**4.68**
被服造形実習Ⅲ	9	8	88.9%	5	5	5	5	5	**5.00**
病理学	41	34	82.9%	4.74	4.71	4.74	4.71	4.74	**4.73**
ファッションデザイン	17	17	100.0%	4.65	4	4.76	4.71	4.59	**4.54**
ファッションデザイン画	15	14	93.3%	4.71	4.79	4.71	4.71	4.79	**4.74**
ファッション販売論	19	14	73.7%	4.79	4.79	4.71	4.71	4.79	**4.76**
ファッションビジネス論	18	17	94.4%	4.82	4.76	4.82	4.88	4.88	**4.83**
服飾工芸・造形(織物)Ⅲ	5	4	80.0%	5	5	5	5	5	**5.00**
服飾工芸・造形(服飾手芸)Ⅰ	17	16	94.1%	4.94	4.88	4.88	4.88	4.88	**4.89**
服飾工芸・造形(服飾手芸)Ⅱ	6	5	83.3%	5	5	5	5	5	**5.00**
服飾生活特別演習	8	8	100.0%	5	5	5	4.88	5	**4.98**
仏語Ⅰ	11	10	90.9%	5	4.3	4.3	4.6	4.5	**4.54**
仏語Ⅱ	7	6	85.7%	4.83	4.67	4.67	4.67	4.5	**4.67**
プロダクトデザインⅠ	17	16	94.1%	4.63	5	4.81	4.63	5	**4.81**
プロダクトデザインⅡ	13	10	76.9%	4.6	4.9	4.9	4.7	4.8	**4.78**
保育学	11	11	100.0%	4.91	4.91	4.73	4.73	4.73	**4.80**
保健栄養学	42	39	92.9%	4.41	4.31	4.31	4.38	4.33	**4.35**
マーケティング論	18	16	88.9%	4.69	4.69	4.63	4.69	4.69	**4.68**
マンガⅠ	38	33	86.8%	4.70	4.55	4.61	4.45	4.58	**4.58**
マンガⅡ	30	23	76.7%	4.78	4.70	4.74	4.74	4.70	**4.73**
マンガⅢ	30	25	83.3%	4.92	4.8	4.8	4.6	4.52	**4.73**
マンガⅣ	24	18	75.0%	4.83	4.83	4.72	4.83	4.61	**4.76**
メディア芸術基礎	49	36	73.5%	4.89	4.47	4.61	4.64	4.64	**4.65**

メディア芸術論	49	32	65.3%	4.59	4.31	4.47	4.5	4.31	**4.44**
有機化学	50	42	84.0%	4.26	2.98	3.40	3.05	3.12	**3.36**
有機化学Ⅱ	54	47	87.0%	4.64	3.51	4.09	4.02	3.77	**4.01**
洋画Ⅰ	43	24	55.8%	4.59	4.67	4.79	4.54	4.5	**4.62**
洋画Ⅱ	38	23	60.5%	4.74	4.83	4.87	4.83	4.70	**4.79**
洋画Ⅲ	46	17	37.0%	4.24	4.47	4.35	4.47	4.53	**4.41**
ライフデザイン	109	103	94.5%	4.79	4.73	4.68	4.78	4.70	**4.74**
臨床医学概論Ⅰ	43	33	76.7%	4.42	4.42	4.24	4.33	4.36	**4.35**
臨床医学概論Ⅱ	39	33	84.6%	4.42	4.42	4.36	4.42	4.33	**4.39**
臨床栄養学Ⅰ	42	39	92.9%	4.82	4.72	4.74	4.64	4.62	**4.71**
臨床栄養学Ⅱ	38	31	81.6%	4.77	4.74	4.74	4.68	4.68	**4.72**
臨床栄養学実習Ⅰ	35	32	91.4%	4.66	4.56	4.56	4.47	4.47	**4.54**
臨床栄養学実習Ⅱ	37	32	86.5%	4.56	4.5	4.44	4.47	4.47	**4.49**
臨床栄養指導論Ⅰ	38	36	94.7%	4.69	4.5	4.58	4.5	4.5	**4.55**
臨床栄養指導論Ⅱ	37	35	94.6%	4.51	4.49	4.4	4.4	4.49	**4.46**
歴史Ⅰ	67	56	83.6%	4.79	4.48	4.70	4.61	4.5	**4.62**
歴史Ⅱ	39	31	79.5%	4.68	4.65	4.65	4.65	4.61	**4.65**
基礎調理学実習Ⅰ	13	8	61.5%	4.88	5	5	4.63	5	**4.90**
基礎調理学実習Ⅰ	41	41	100.0%	4.37	3.80	4.05	3.68	4.2	**4.02**
被服平面造形学	18	17	94.4%	4.82	4.59	4.59	4.18	4.65	**4.57**
被服平面造形学	14	14	100.0%	4.79	3.43	3.93	2.79	3.86	**3.76**
全体総数・平均	8056	6801	84.4%	4.66	4.52	4.58	4.52	4.53	**4.56**

＜短大:科目順＞

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	質問①	質問②	質問③	質問④	質問⑤	総合評価
運動生理学	28	26	92.9%	4.88	4.81	4.77	4.88	4.85	**4.84**
英語Ⅰ	13	12	92.3%	4.92	4.58	4.5	4.58	4.5	**4.62**
英語Ⅰ	19	18	94.7%	4.72	4.39	4.5	4.56	4.44	**4.52**
英語Ⅱ	2	2	100.0%	5	5	5	5	4.5	**4.90**
英語Ⅱ	11	8	72.7%	4.75	4.38	4.13	4.63	4.38	**4.45**
栄養学Ⅰ	22	19	86.4%	4.84	4.68	5	4.26	4.37	**4.63**
栄養学Ⅱ	21	19	90.5%	4.79	4.74	4.79	4.58	4.68	**4.72**
栄養学実験	29	25	86.2%	5	4.88	5	4.92	4.92	**4.94**
栄養士基礎演習	19	18	94.7%	4.78	4.72	4.78	4.83	4.78	**4.78**
栄養指導論実習	30	28	93.3%	4.14	3.68	3.89	3.86	4.14	**3.94**
栄養情報処理演習Ⅰ	15	14	93.3%	5	4.93	5	5	5	**4.99**
栄養情報処理演習Ⅱ	15	10	66.7%	4.9	5	5	5	4.9	**4.96**
解剖生理学	20	19	95.0%	4.74	4.53	4.74	4.63	4.53	**4.63**
キャリアアップセミナー(子	13	9	69.2%	4.56	4.33	4.33	4.56	4.56	**4.47**
キャリアアップセミナー(食	19	18	94.7%	4.83	4.61	4.72	4.67	4.67	**4.70**
キャリアサポートセミナーⅠ	21	17	81.0%	4.53	4.41	4.41	4.35	4.35	**4.41**
キャリアサポートセミナーⅡ	31	27	87.1%	4.74	4.74	4.81	4.81	4.70	**4.76**
給食管理学	20	18	90.0%	4.89	4.89	4.89	4.83	4.78	**4.86**
給食管理基礎演習Ⅰ	19	17	89.5%	4.71	4.65	4.65	4.65	4.65	**4.66**
給食管理基礎演習Ⅱ	30	26	86.7%	4.92	4.92	4.88	4.85	4.88	**4.89**
給食管理実習Ⅰ	20	18	90.0%	4.94	4.94	4.89	4.94	4.89	**4.92**
給食管理実習Ⅱ	31	21	67.7%	4.90	4.90	4.90	4.90	4.86	**4.89**
教育・保育制度論	12	12	100.0%	4.92	4.83	4.75	4.83	4.75	**4.82**
教育・保育相談	12	12	100.0%	4.67	4.67	4.75	4.58	4.75	**4.68**
教育・保育方法論	12	11	91.7%	4.55	4.45	4.36	4.55	4.27	**4.44**
教育課程論	11	10	90.9%	4.8	4.5	4.7	4.7	4.7	**4.68**
教育実習(事前・事後指導を含む)	11	10	90.9%	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5	**4.56**
教育心理学	11	11	100.0%	4.64	4.55	4.55	4.55	4.55	**4.57**
健康スポーツⅠ	32	29	90.6%	4.72	4.66	4.55	4.69	4.66	**4.66**
公衆衛生学	31	28	90.3%	4.68	3.96	4.25	4.21	4.36	**4.29**
公衆栄養学	30	27	90.0%	4.78	4.85	4.89	4.78	4.74	**4.81**
国語表現法	10	8	80.0%	5	5	5	5	5	**5.00**
国語表現法	12	7	58.3%	4.29	4.71	4.43	4.57	4.43	**4.49**
子ども家庭支援の心理学	12	10	83.3%	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	**4.70**
子ども家庭支援論	12	12	100.0%	4.5	4.33	4.42	4.42	4.42	**4.42**
子ども家庭福祉論	12	10	83.3%	4.7	4.4	4.4	4.6	4.5	**4.52**
子どもと音楽表現	12	12	100.0%	4.67	4.67	4.75	4.67	4.58	**4.67**
子どもと環境	12	12	100.0%	4.67	4.75	4.67	4.58	4.67	**4.67**
子どもと健康	12	11	91.7%	4.45	4.64	4.73	4.55	4.55	**4.58**
子どもと言葉	12	11	91.7%	4.45	4.45	4.36	4.45	4.36	**4.41**
子どもと食の栄養	12	12	100.0%	4	3.92	4	4	4.17	**4.02**
子どもと造形表現	12	11	91.7%	4.64	4.73	4.73	4.64	4.64	**4.68**
子どもと人間関係	13	13	100.0%	4.38	4.15	4.08	4.15	4	**4.15**
子どもの健康と安全	12	10	83.3%	4.5	4.2	4.2	4.1	4.2	**4.24**
子どもの食と栄養Ⅱ	12	12	100.0%	4.33	4	3.83	3.67	3.92	**3.95**
子どもの保健	13	9	69.2%	4.56	3.89	4.44	3.33	3.67	**3.98**
子ども理解の理論と方法	12	12	100.0%	4.58	4.58	4.58	4.58	4.58	**4.58**
コンピュータサイエンス概論	13	11	84.6%	3.27	2.91	3.27	3.45	3.45	**3.27**
児童文化	12	10	83.3%	4.7	4.6	4.6	4.4	4.5	**4.56**
社会学	25	16	64.0%	4.63	4.25	4.44	4.5	4.5	**4.46**
社会的養護Ⅱ	13	12	92.3%	4.58	4.67	4.58	4.5	4.58	**4.58**
社会福祉論	12	12	100.0%	4.67	4.67	4.5	4.67	4.67	**4.64**
社会福祉論	28	24	85.7%	4.38	3.92	3.96	3.96	4.08	**4.06**
障害児保育	12	12	100.0%	4.58	4.58	4.5	4.67	4.58	**4.58**
情報処理Ⅰ	31	29	93.5%	4.55	4.03	4.59	4.48	4.45	**4.42**

情報処理Ⅱ（食物）	19	18	94.7%	4.72	4.17	4.39	4.17	4.11	**4.31**
食品衛生学	31	28	90.3%	4.89	4.89	4.86	4.82	4.82	**4.86**
食品衛生学実験Ⅰ	31	27	87.1%	4.89	4.85	4.81	4.81	4.89	**4.85**
食品衛生学実験Ⅱ	28	26	92.9%	4.92	4.81	4.96	4.81	4.81	**4.86**
食品学	20	17	85.0%	5	4.94	5	4.82	4.65	**4.88**
食品学実験Ⅰ	20	18	90.0%	5	4.83	4.89	4.94	4.89	**4.91**
食品学実験Ⅱ	19	19	100.0%	4.89	4.89	4.95	4.68	4.74	**4.83**
食文化論	10	9	90.0%	4.67	4.78	4.89	4.89	4.67	**4.78**
心理学	32	20	62.5%	4.8	4.7	4.8	4.8	4.7	**4.76**
スタディスキルズ（子）	12	11	91.7%	4.45	4.27	4.27	4.18	4.27	**4.29**
スタディスキルズ（食）	20	16	80.0%	4.94	4.44	4.63	4.56	4.63	**4.64**
生化学	23	22	95.7%	4.14	3.95	4.09	3.73	3.91	**3.96**
生活文化概論	32	29	90.6%	4.24	3.62	4	3.97	3.86	**3.94**
生活文化各論	32	29	90.6%	4.59	4.52	4.59	4.59	4.38	**4.53**
生物と生命倫理	20	16	80.0%	4.88	4.81	4.56	4.88	4.75	**4.78**
調理学実習Ⅱ	19	18	94.7%	4.72	4.39	4.67	4.56	4.56	**4.58**
テーブルコーディネートⅠ	15	15	100.0%	4.67	4.8	4.73	4.73	4.67	**4.72**
テーブルコーディネートⅡ	14	13	92.9%	4.77	4.77	4.77	4.69	4.69	**4.74**
特別支援教育	12	11	91.7%	4.27	4.36	4.36	4.36	4.36	**4.34**
日本語基礎	13	12	92.3%	4.75	4.67	4.92	4.5	4.58	**4.68**
日本語基礎	12	10	83.3%	4.4	4.7	4.6	4.7	4.5	**4.58**
日本国憲法	40	31	77.5%	4.68	4.29	4.39	4.42	4.35	**4.43**
乳児保育Ⅰ	13	10	76.9%	4.7	4.6	4.8	4.6	4.4	**4.62**
乳児保育Ⅱ	12	10	83.3%	4.5	4.4	4.4	4.3	4.4	**4.40**
発達心理学	12	9	75.0%	4.44	4.33	4.22	4.33	4.22	**4.31**
ピアヘルパー演習	12	10	83.3%	4.5	3.9	4.1	4.2	4.3	**4.20**
微生物学	20	17	85.0%	4.88	4.41	4.18	4.29	4.35	**4.42**
病理学	28	26	92.9%	4.88	4.85	4.88	4.96	4.85	**4.88**
フードマネジメント	8	7	87.5%	4.86	4.71	4.86	4.86	4.71	**4.80**
保育・教職実践演習（幼稚園）	11	11	100.0%	4.82	4.82	4.82	4.73	4.82	**4.80**
保育原理	12	10	83.3%	4.4	4.2	4.1	4	4.3	**4.20**
保育実習指導Ⅰ	12	9	75.0%	4.78	4.56	4.22	4.33	4.67	**4.51**
保育実習指導Ⅱ	12	11	91.7%	4.55	4.36	4.73	4.45	4.45	**4.51**
保育者論	12	12	100.0%	4.58	4.58	4.67	4.67	4.67	**4.63**
保育内容（環境）	12	10	83.3%	4.4	4.3	4.4	4.6	4.5	**4.44**
保育内容（健康）	13	10	76.9%	4.6	4.1	4.3	4.1	4.2	**4.26**
保育内容（言葉）	12	8	66.7%	4.5	4.38	4.25	4.5	4.25	**4.38**
保育内容（人間関係）	12	11	91.7%	4.36	4.09	4.09	4.09	3.91	**4.11**
保育内容（表現Ⅰ）	12	11	91.7%	4.64	4.55	4.36	4.45	4.36	**4.47**
保育内容総論	12	12	100.0%	4.67	4.75	4.75	4.67	4.58	**4.68**
保育内容の指導法	12	12	100.0%	4.58	4.58	4.67	4.42	4.42	**4.53**
保育の計画と評価	12	10	83.3%	4.4	4.4	4.3	4.2	4.3	**4.32**
保育の実技と演習	12	12	100.0%	4.58	4.75	4.67	4.58	4.67	**4.65**
有機化学	29	17	58.6%	4.36	2.76	4	3.41	3.24	**3.55**
ライフステージ栄養学	19	18	94.7%	4.94	4.89	4.89	4.83	4.72	**4.85**
ライフステージ栄養学実習Ⅰ	19	18	94.7%	4.67	4.67	4.67	4.67	4.56	**4.65**
ライフステージ栄養学実習Ⅱ	31	28	90.3%	4.54	4.43	4.57	4.61	4.57	**4.54**
臨床栄養学概論	31	23	74.2%	4.96	4.91	4.91	4.91	4.91	**4.92**
臨床栄養学各論	29	23	79.3%	4.91	4.87	4.87	4.87	4.87	**4.88**
臨床栄養学実習	27	23	85.2%	4.78	4.65	4.65	4.48	4.57	**4.63**
教育原理	12	10	83.3%	4.4	4.3	4.2	4.2	4.4	**4.30**
全体総数・平均	1892	1650	87.2%	4.65	4.51	4.56	4.52	4.51	**4.55**

2）担当科目の振り返りおよびその他の FD 活動

＜家政学部＞

学科専攻	家政学科　服飾文化専攻
氏　　名	伊豆田 友美
担当科目	化学Ⅰ、被服繊維学、被服材料学実験、染色加工学実験、被服繊維学実験、被服材料学、染色加工学、被服整理学実験

考察及び改善点について

今年度は新たに講義科目が 3 つ増え、一人一人の学生と寄り添いながら理解を深める余裕がなかったように思われた。理解を促すように、授業毎の始めにはその日の授業の目的と授業の最後にはまとめを述べるように行っていたが及ばなかった。特に、化学Ⅰについては授業のスピードが速いや難しいとの意見を受けた。一方で実験授業は、わかりやすいとの意見もあるため、座学においても実演を行うことで理解を促すように改善したいと考える。

また、教育実習で何週も欠席する学生に対してのフォローも課題の 1 つである。

令和 6 年度研究奨励賞「コーヒー殻の再利用によるケラチン繊維の染色性」

授業参観回数　前期:　2　　後期:　0	
他教員の授業参観有無　有り	FD セミナーでの報告（発表）の有無　有り

学科専攻	家政学科　服飾文化専攻
氏　　名	植松 公威
担当科目	スタディスキルズ（オムニバス）、心理学Ⅰ・Ⅱ、教育心理学、専門研究Ⅰ・Ⅱ、教育実習（事前・事後指導を含む）（オムニバス）、教職実践演習（中・高）（オムニバス）、家庭科教材研究、心理学（短）、ピアヘルパー演習（オムニバス）（短）、教育心理学（短）

考察及び改善点について

教育心理学では評定平均値が 4.82 と前年度よりも高かった。前年度のコメントで見られた「難しかった」という反応はなくなり、「非常に考えさせられる授業だった」というコメントが寄せられた。「不登校」や「心に寄り添う授業のあり方」などの難しいテーマに対して事例を交えながらわかりやすく説明できたのが高い評定平均値につながった。

一方、心理学Ⅰでも例年通り高い評定平均値（4.58）が得られたが、一部のコメントに「眠くなる」、「グループでの話し合いがあればもっと楽しそう」という意見があった。今後は、作業の機会を増やしたり、グループでの話し合いを採り入れたりすることによって緊張感のある授業作りを目指していきたい。

心理学Ⅱも 4.58 の評定平均値であった。この授業では作業による集計とグラフ化やワークシートへの記入、授業者自身の生い立ちに関する体験談などがあり、あまり否定的なコメントは見られなかったが、ミニットペーパーの内容（今、流行の心理テスト）を授業で取り上げ、解説するとさらに良かったのではないかと考える。

授業参観回数　前期:　0　　後期:　0	
他教員の授業参観有無　無し	FD セミナーでの報告（発表）の有無　無し

学科専攻	家政学科　健康栄養学専攻
氏　　名	川俣 幸一
担当科目	応用栄養学 I･II、応用栄養学実習 I･II、栄養管理論、運動生理学、解剖生理学実験、キャリア開発 II

考察及び改善点について

最も高い評価はスポーツと食事で総合 4.97 であり、最も低い教科は応用栄養学 I で総合 4.62 であった。全体としての平均が 4.56 程度と考えると、好意的な評価をいただいているように思える。ただ教授内容については例年ほとんど変えていないので、今回の評価を信頼関係あってのこととありがたく頂戴したいと思う。

私が思うに授業評価が低くても国家試験を合格させるのが教授能力の有無だと思っているので、この評価に甘んずることなく引き続き国家試験にどうしたら全員が合格するか、そのためには 2 年次からの授業でどのように学生を刺激するかをテーマに取り組んでいきたい。

授業参観回数　前期:　0　　後期:　0	
他教員の授業参観有無　無し	FD セミナーでの報告(発表)の有無　無し

学科専攻	家政学科　服飾文化専攻
氏　　名	川又 勝子
担当科目	日本服装史、染織文化史、染織文化演習、被服平面造形学、被服平面造形実習Ⅰ、被服平面造形実習Ⅱ、染色学実習、テキスタイルデザインⅠ(オムニバス)、テキスタイルデザインⅡ、専門研究Ⅰ

考察及び改善点について

当年度は、日本服装史、被服平面造形学(2 年次･3 年次)、染色学実習、テキスタイルデザイン I にて授業改善アンケートが行われた。3 年次被服平面造形学以外では総合評価が 4 点台後半の評点を得ることができ、概ね好意的に受講されたことが示唆された。自由記述では被服平面造形学 3 年生の方々から、「もう少しゆっくり説明してほしかった」「授業時間が足りない」「厳しすぎる」等の記述が見られあまり評価されなかったが、同一内容授業の 2 年生の方々からは総合評価 4.57 と高評価となり、学年の特性によって受け入れられ方が大きく異なることが示された。どんな学生にも理解を深めてもらえるような授業を心掛けたい。

また BYOD 化に伴い、前年度より取り入れた PDF 入力フォーム型ワークシートのブラッシュアップを図った。学生の反応やアンケート結果から概ね受け入れられたと考えられる。そのほかの教材もよりよいものとなるよう検討を続けたい。

授業参観回数　前期:　3　　後期:　3	
他教員の授業参観有無　有り	FD セミナーでの報告(発表)の有無　無し

学科専攻	家政学科　服飾文化専攻
氏　　名	菊地 紗代
担当科目	被服学、アパレル製図法Ⅰ（平面）・Ⅱ（応用）、スタートアップソーイング、被服造形実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（オムニバス）、アパレル生産実習、服飾生活特別演習、家政特別講義Ⅰ・Ⅱ（オムニバス）、家政特別演習、専門研究Ⅰ・Ⅱ

考察及び改善点について

授業改善アンケートを実施した 10 科目の総合評価は 4.44～5.00 と概ね良好であった。「被服造形実習Ⅲ」においては、同学年同時期開講の「アパレル CADⅡ」と連携し、パターン作成への理解をより深め、専門性の向上を図る体制を整えた。また、「服飾生活特別演習」では外部団体と協働し、企画から製作・納品までの一連の工程を経験させることで、社会とつながる学びを実践した。さらに、「専門研究Ⅰ」では企業から材料の協賛を得て、作品を店舗で展示する機会を得た。

なお、視覚的な理解を促すため、教員の手元の作業をプロジェクターで投影する工夫や個別指導は継続して実施している。一方で、技能・学修面での負担を感じる学生も見受けられるため、今後は進度や課題設定を工夫し、個々の状況に応じたきめ細やかな支援を充実させていきたい。

R6 年度教育改革推進研究奨励賞報告「SDGS の課題解決を目指した産学連携教育による 企業制服開発研究」

授業参観回数　前期:　5　　後期:　2	
他教員の授業参観有無　有り	FD セミナーでの報告（発表）の有無　有り

学科専攻	家政学科　健康栄養学専攻
氏　　名	栗山 孝雄
担当科目	地域栄養活動演習Ⅰ・Ⅱ、公衆栄養学（健）（短）、健康栄養学総合演習Ⅰ・Ⅲ（オムニバス）、家政特別講義Ⅳ（健）（オムニバス）、キャリア開発Ⅲ・Ⅳ（健）（オムニバス）、スタディスキルズ（健）（オムニバス）、栄養情報処理演習（オムニバス）、公衆栄養学実習、保健栄養学、公衆栄養学臨地実習、セミナーⅠ・Ⅱ（健）（オムニバス）、家政特別講義Ⅲ（臨地実習演習）（健）（オムニバス）

考察及び改善点について

専門科目では、保健や栄養指導のロールプレイがよかった、最近ニュースで取り上げられたことを交えての講義がよかったとの意見があった。スタディスキルズでは、聞く授業が多かったので、何かをする機会を増やしてもよいという希望が寄せられた。

健康 4 年の演習では、内容はよいが行う学年を変えた方がよいとの意見があった。内容によっては3年生以下で行い、得た知識や技術を4年次に生かす必要性が感じられた。健康4年の国家試験対策では、オンデマンドで何回も見返したいとの意見が複数見られた。国家試験合格につながる内容のため、対応すべき点である。

・公開授業：前期と後期の公開授業週間に実施した。また、前期、後期とも他の教員の授業を参観し、授業の進め方、学生への声掛けなどを知る機会となった。

・実施した FD 活動：公開授業週間の授業公開、FD セミナーへの参加。

授業参観回数　前期:　3　　後期:　3	
他教員の授業参観有無　有り	FD セミナーでの報告（発表）の有無　無し

学科専攻	家政学科　健康栄養学専攻
氏　　名	佐藤 靖子
担当科目	食品学各論、食品加工学、調理科学論、調理科学実験、食品加工実習、課題研究、家政特別講義（オムニバス）、キャリア開発Ⅲ・Ⅳ（オムニバス）、

考察及び改善点について

授業では、進め方が早いと記述した学生が 4 名いた。授業スライドに即した書き込み用プリントを配布しており、説明後に学生全員の記入を待って次のスライドに移っているが、早い時には発言してほしいと再三説明しているが、次年度の改善策としては、まず書き込みを終了させてから説明に入る。また、実物投影機の使用については、プリントと参考書を交互に投影することが出来、また、参考書に下線を引かせるために有効であると考える。

公開授業では参観していただいたが、他の授業に参観できなかったため、次年度は参観するようにしたい。

授業参観回数　前期:　0　　後期:　0	
他教員の授業参観有無　有り	FD セミナーでの報告（発表）の有無　無し

学科専攻	家政学科　健康栄養学専攻
氏　　名	鴫原 美智子
担当科目	給食経営学、給食管理学、学校栄養指導論、学校食育概論、健康栄養学総合演習Ⅰ（オムニバス）、キャリア開発 III・IV（オムニバス）、給食管理実習 I・II、給食臨地実習Ⅰ・Ⅱ、家政特別講義 III（オムニバス）、健康栄養学総合演習 II（オムニバス）、栄養教育実習事前・事後指導（オムニバス）、教職実践演習（オムニバス）、セミナーⅠ・Ⅱ（オムニバス）

考察及び改善点について

給食管理学では、記述活動を重視して学修内容の定着を図るとともに、講義スライドの印刷配付により学生が自分のペースで整理・記述できるよう支援した。給食経営学では、管理栄養士国家試験対策を意識して関連問題を授業内で随時提示し、基礎知識の定着に加えて応用力の向上を図った。国家試験対策としては、グループ学習を取り入れ、学生同士が教授し合う機会を設けることで、知識の再構成と主体的学修の促進、得点力の向上につなげた。教職実践演習では、養護教諭および栄養教諭を招聘し、健康教育に関する実践的な指導方法について学ぶ機会を設けることで、教育現場を意識した理解の深化と教職への意欲向上を図った。

これらの取組の結果、学生の理解促進や主体的学修に一定の成果が見られた一方で、学修到達度や授業への参加状況に差が認められたことから、今後は評価基準の明確化やフィードバックの充実を図るとともに、学力差に応じた支援や全員が主体的に参加できる学習活動の工夫を行う。

授業参観回数　前期:　1　　後期:　0	
他教員の授業参観有無　無し	FD セミナーでの報告（発表）の有無　無し

学科専攻	家政学科　健康栄養学専攻
氏　　名	鈴木 裕行
担当科目	化学Ⅰ・Ⅱ(健))、化学Ⅱ(服・美)、生化学Ⅰ・Ⅱ、基礎栄養学(健・服)、栄養生化学、栄養学実験、生化学実験、食品衛生学実験、キャリア開発Ⅰ、キャリア開発Ⅲ・Ⅳ(オムニバス)、セミナーⅠ・Ⅱ(オムニバス)、生化学(短)、特別演習(短、オムニバス)

考察及び改善点について

【授業改善アンケートについての考察】評価点数としては全般的に可もなく不可もなしといったところ。「化学Ⅰ・Ⅱ、キャリア開発Ⅰ」について、「進み方が速い」という意見が例年より増えており、学生の理解に合わせた進行に留意したい。「板書の字が読みにくい」「声が聴きとりにくい」という意見は科目を問わず少数あるので改善したい。短大「生化学」で熊出没対策で 6 回遠隔授業(オンデマンド方式)を行ったが、提示時期が遅れたのは反省点である。
【公開授業の実施】全科目を公開対象とした。前期の「生化学Ⅱ」で参観者があった。
【実施したFD活動】委員会運営に関わるもののみ。

授業参観回数　前期:　0　　後期:　0	
他教員の授業参観有無　有り	FD セミナーでの報告(発表)の有無　無し

学科専攻	家政学科　健康栄養学専攻
氏　　名	髙橋 文
担当科目	臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ、臨床栄養指導論Ⅰ・Ⅱ、臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ、臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ、家政特別講義Ⅲ・Ⅳ、キャリア開発Ⅲ・Ⅳ(オムニバス)、健康栄養学総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(オムニバス)、セミナーⅠ・Ⅱ(オムニバス)

考察及び改善点について

授業評価アンケートにおける主要 6 科目の評価は 4.46～4.72 と概ね良好な結果であった。講義については、アクティブラーニングを多く取り入れることで、知識を主体的に学ぼうとする姿勢に加え、自分の意見を相手に伝え、グループ内で議論しながら課題に取り組むことなど、自主性や協調性などの能力の向上に効果があったのではないかと考えている。
また、授業が一方通行にならないよう、授業の最後にミニテストを行い、スモールステップで知識の確認と蓄積ができるよう工夫した。
実習については、調理実習に加え、様々な疾患の症例を用いて、問題点や栄養食事療法のグループ検討や栄養指導媒体を作成しプレゼンテーションするなどのグループワークを多く設けた。
今後も学生の学修意欲を学修成果につなげられるよう、更に質の高い授業を行っていきたい。

授業参観回数　前期:　3　　後期:　1	
他教員の授業参観有無　無し	FD セミナーでの報告(発表)の有無　無し

学科専攻	家政学科　健康栄養学専攻
氏　　名	深澤　律子
担当科目	基礎調理学実習Ⅰ・Ⅱ(健)、応用調理学実習Ⅰ・Ⅱ(健)、食文化論(健)、食文化論(服)、基礎調理学実習Ⅰ・Ⅱ(服)

考察及び改善点について

授業改善アンケートの結果については、大学の調理室には調理の師範を見せる鏡やビデオがないため手元が見えにくいという意見があった。この点に関しては、プロジェクターなどを使用して改善していきたい。また、授業時間 1.5 コマ(135 分)の時間内で、デモンストレーション、調理、試食、片付け、掃除を行うため、基礎調理学実習に関しては献立品数を 3 品から 2 品に減らす、などの対応で改善していきたい。調理実習の師範や説明に関しても、あらかじめプリントに詳しく書き加えるなどの対応をしていきたい。

授業を参観させていただいての感想は、文字を大きく余白をもって作成されたプリントが、わかりやすい印象であったため、文字の大きさを少し工夫し、わかりやすく理解を深めるプリントに改善したい。

授業参観回数　前期:　1　　後期:　1	
他教員の授業参観有無　有り	FD セミナーでの報告(発表)の有無　無し

学科専攻	家政学科　健康栄養学専攻
氏　　名	ブシャーシルベ
担当科目	英語Ⅰ・Ⅱ、英会話Ⅰ、仏語Ⅰ・Ⅱ、英語Ⅰ・Ⅱ(短)、英語Ⅰ・Ⅱ(短)

考察及び改善点について

授業評価アンケートの結果では、説明の分かりやすさや授業構成について概ね良好な評価が得られた一方で、進度や課題の難易度にばらつきがあるとの指摘があった。これを踏まえ、課題の負担を調整し、指示をより明確にした。また、理解定着を図るため授業内での復習時間を確保した。公開授業の実施および参観は行っていない。FD セミナーへの参加もなかったが、日常的に授業の見直しと改善を行った。

授業参観回数　前期:　0　　後期:　0	
他教員の授業参観有無　無し	FD セミナーでの報告(発表)の有無　無し

学科専攻	家政学科　健康栄養学専攻
氏　　名	八巻 美智子
担当科目	家政学原論(服・健)、食品学総論(服・健)、食品学実験 I・Ⅱ、家族関係学(服・健)、課題研究、キャリア開発 III・Ⅳ(オムニバス)、セミナー Ⅰ・Ⅱ(オムニバス)

考察及び改善点について

アンケート評価では、食品学実験 I(前期)と II(後期)では II の方がより高度な内容となる為、難しいと感じる学生が多いためか評価が低下するが、一昨年に引き続き上昇する結果となった。班ごとや個別に指導する時間を設け丁寧に行った点が評価につながったと考えられた。引き続き、個別指導の時間を設けて行きたい。今後も頂いた意見を参考にし、良かった所は継続し、改善点は内容を精査し検討しながら新たな取り組みも少しずつ取り入れて、学生に合わせた理解しやすく楽しい授業を実施できるように努力していきたい。

プレゼンテーションの授業では、昨年度より個人のパソコンを使用して発表する形式とした。事前に接続も含めた練習の機会を設けた為、今回は比較的スムーズに実施できた。全体的にみるとパソコンのスキルもアップし好評であったため、今後も継続していきたい。

公開授業では、保健栄養学の授業を参観させて頂いた。教授方法が非常に勉強となったので、今後の授業に役立てていきたい。

授業参観回数　前期:　0　　後期:　1	
他教員の授業参観有無　無し	FD セミナーでの報告(発表)の有無　無し

＜美術学部＞

学科	美術表現学科
氏　　名	落合 里麻
担当科目	デザイン基礎 I (映像メディア表現を含む。)(オムニバス)、デザイン基礎Ⅱ(オムニバス)、プロダクトデザイン Ⅰ・Ⅱ、博物館実習Ⅱ(見学実習を含む。)、博物館実習Ⅱ(館園実習)(事前・事後指導を含む。)、美術(オムニバス)

考察及び改善点について

令和 7 年度の授業では道具や材料の見直しと改善を行った。安定した状態で制作するための補助道具、材料を傷つけないためのマスキング材など、最適なものを選ぶことで改善に繋がった。また、怪我をしないための道具の正しい使い方や過去の怪我の例などの話に時間を多く費やした。学生は少々怖がったものの、意識が向上したと見受けられ、大きな怪我をした学生はいなかった。

令和 7 年度前期は病気休暇を 1 ヶ月取得し、各授業で 4 回の休講を出した。この分を取り戻すため、例外的ではあるが、夏季休暇を挟んで 9 月に授業を行った。学生に不利益がないよう回数を多く設定し、説明の後の制作時間を多めに取るなど、進め方と日程調整を工夫した。アンケートには「時間があったおかげで自分の満足のいく作品を作ることができて良かったです！」等、思いの外前向きな記述ばかりであった。満足に繋がる方法を常に考えて取り組んだことが功を奏したのだと思う。

授業参観回数　前期:　0　　後期:　1	
他教員の授業参観有無　無し	FD セミナーでの報告(発表)の有無　無し

学科	美術表現学科
氏　　名	佐々木 輝子
担当科目	工芸基礎Ⅰ・Ⅱ（オムニバス）、染織Ⅰ～Ⅳ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、スタディスキルズ（オムニバス）、美術（オムニバス）、キャリア開発Ⅰ・Ⅱ（美）（オムニバス）

考察及び改善点について

授業改善アンケートでは概ね 4.5 以上の評価であった。参観された先生方からいただいた参観メモには「書く学生の進捗と内容の把握により、適宜指導する姿が見受けられた」との意見があった。染織技法は初めて取り組む学生が多数のため、各自の作業スピードに合わせて指導を重ねてきた。受講人数の上限は年度ごとに異なるが、可能な限り SA 等を活用して、今後も丁寧な技術指導に努めたいと思う。

授業参観回数　前期:　1　　後期:　1	
他教員の授業参観有無　有り	FD セミナーでの報告（発表）の有無　有り

学科	美術表現学科
氏　　名	鈴木 専
担当科目	アニメーションⅠ～Ⅳ（オムニバス）、絵画基礎Ⅰ・Ⅱ（オムニバス）、洋画Ⅰ～Ⅳ（オムニバス）、メディア芸術基礎（オムニバス）、スタディスキルズ（オムニバス）、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、美術（オムニバス）

考察及び改善点について

前期は公開授業を観に行けたが後期は行けなかった。アンケートに関しては、授業に対して好意的だったり厳しい指摘があったり、様々な意見を率直に書いてくれたと思う。今年度もすでに一か月が過ぎた。学生たちの現在と未来の作品制作に繋がるようなきっかけを少しでも多く提示したい。

授業参観回数　前期:　1　　後期:　0	
他教員の授業参観有無　無し	FD セミナーでの報告（発表）の有無　無し

学科	美術表現学科
氏　　名	立花 布美子
担当科目	工芸基礎Ⅰ・Ⅱ(オムニバス)、陶芸Ⅰ～Ⅳ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、美術(オムニバス)、キャリア開発Ⅰ・Ⅱ(美)(オムニバス)

考察及び改善点について

授業評価アンケートを実施した教科(工芸基礎Ⅰ・Ⅱ、陶芸Ⅰ～Ⅲ)では、いずれも 4.68 以上の高い評価を得ることができ、自由記述においても改善を求める指摘はなかった。授業では、積極的に取り組む学生が多く、配布しているワークシートや作業日誌においても、自身の学習や制作活動を振り返り、次の授業に向けた課題や目標を具体的に記述する姿が見られた。

さらに、SA 学生の協力により、個別にフォローが必要な学生への対応も円滑に行うことができた。こうした学修支援体制の充実も、学生が安心して制作活動に取り組む環境づくりにつながり、授業評価における高い評価が得られたのではないかと思われる。

また、制作期間の中間に作業計画を見直す機会を設けることで、教員からの助言を受けることなく、自らの進捗状況や今後の作業内容を確認し、計画を調整することができている。この取組は、学生の主体的な学修を促すうえで有効であると考えられるため、今後も継続して授業に取り入れていく。

授業参観回数　前期:　2　　後期:　1	
他教員の授業参観有無　有り	FD セミナーでの報告(発表)の有無　無し

学科	美術表現学科
氏　　名	虎尾　裕
担当科目	彫刻基礎Ⅰ・Ⅱ、彫刻Ⅰ～Ⅳ、スタディスキルズ(オムニバス)、美術(オムニバス)、卒業研究Ⅰ・Ⅱ

考察及び改善点について

授業全般に言えることは、もう少し分かりやすい説明と、エピソードを交えた言動があまり過度にならないように、作品制作に即した実技指導の段取りなどの内容に準拠するように心がける。

授業参観回数　前期:　1　　後期:　1	
他教員の授業参観有無　有り	FD セミナーでの報告(発表)の有無　有り

学科	美術表現学科
氏　　名	三浦　忠士
担当科目	地域創生演習Ⅱ～Ⅵ、版画Ⅰ・Ⅱ、美術（オムニバス）

考察及び改善点について

授業改善アンケートの結果は、担当した授業の総合評価がいずれも 4.8 前後と良好だった。しかしながら改善の余地が無かったわけではなく、学生から寄せられた要望も取り入れながら、より良い授業ができるよう工夫していきたい。例えば版画Ⅰの授業においては、4 大版種の一つである孔版の体験させるために、従来はステンシルの技法を体験させていた。しかしながら令和 7 年の授業中に複数人の学生から「シルクスクリーンをやってみたかった」という声が寄せられた。これを受けて令和8年度は、体験する技法をシルクスクリーンに変更することにした。ガイダンスの時点でその旨を受講生に伝えたところ、肯定的な反応が返ってきたため、適切な変更だったと考えている。他の授業においても同様に改善を施し、令和8年度に臨んでいる。

担当している授業のうち、集中講義以外のものは全て公開事業を実施した。その結果、版画Ⅰの授業を美術学部の教員 3 名参観した。

授業参観回数　前期：　1　　後期：　1	
他教員の授業参観有無　有り	FD セミナーでの報告（発表）の有無　有り

学科	美術表現学科
氏　　名	三上 秀夫
担当科目	デザイン基礎Ⅰ・Ⅱ（オムニバス）、デザイン概論、視覚デザインⅠ～Ⅳ、卒業研究Ⅰ・Ⅱ、美術（オムニバス）

考察及び改善点について

授業の課題に、外部からの依頼のデザインを取り入れることで社会とのつながりを意識できる機会を儲けてみた。また、グループワークを加え、他の学生の意見も考慮しながらデザインを考える体験もできるようにした。外部の関係者の意見も聞けて、学生の刺激となり幅広いデザインの理解に役立ったと思う。

公開授業は、すべての授業を公開としたが、残念ながら参観者はいなかった。

授業参観回数　前期：　0　　後期：　0	
他教員の授業参観有無　有り	FD セミナーでの報告（発表）の有無　無し

＜短期大学部＞

学科	生活文化学科　子ども生活専攻
氏　　名	伊藤　利恵
担当科目	保育原理、子どもと人間関係、保育内容（人間関係）、子ども家庭支援論、地域福祉論、生活文化各論（オムニバス）、保育実習事前指導Ⅰ（オムニバス）、教育実習（オムニバス）、保育・教職実践演習（幼稚園）（オムニバス）

考察及び改善点について

授業のICT化を推進するとのことで、Google classroomを活用した。理論を学んでから、演習を行う授業が多く、アクティブラーニングにおいても、Google classroomにより、シートを共有して話し合いながらグループワークの内容をまとめあげ、発表する方法をとった。演習を行うときは、他の科目内容も取り入れ、関連させながら話し合うことを意識した。グループのメンバーが自身の強みを生かしメンバー間が協働しながら学習を進めることができた。授業回数を進めていくにつれ、話し合い内容をまとめ、発表を通して他のグループに伝えることに慣れ、考察も深まっている様子がみられた。改善点としては、事前学習と振り返り学習において学生個人の学習の定着をはかることができるよう学生と授業の見通しを共有しながら進めていくことができるようにしていきたい。

授業参観回数　前期：　1　　後期：　0	
他教員の授業参観有無　有り	FDセミナーでの報告（発表）の有無　有り

学科専攻	生活文化学科　食物栄養学専攻
氏　　名	高瀬　清美
担当科目	微生物学、食品衛生学、食品衛生学実験Ⅰ、食品衛生学実験Ⅱ、環境学、特別演習（オムニバス）、生活文化各論（オムニバス）、環境学（大）

考察及び改善点について

担当した授業科目については、前期・後期ともに授業評価の総合評価平均値が4.5を上回っており、授業内容および進行については概ね良好に実施できたものと考えられる。一方で、学生の学習意欲を一層高め、主体的・能動的な学習姿勢を引き出すことは引き続き重要な課題であると認識している。そのため、今後は受動的な知識の習得にとどまらず、学生が自ら問題意識を持ち、考察・探究する機会をより多く設けられるよう工夫したい。また、専門分野にとどまらず幅広い視点から事象を捉えられるような資料提示や話題提供を心がけ、学生の視野拡大にも注力していきたい。

公開授業については、令和7年度は自身による他教員の授業参観は実施せず、また他教員からの参観もなかった。次年度以降は積極的に他教員の授業を参観し、授業運営や学生との関わり方などの工夫点を学ぶことで、自身の授業改善に役立てたいと考えている。

授業参観回数　前期：　0　　後期：　0	
他教員の授業参観有無　無し	FDセミナーでの報告（発表）の有無　有り

学科	生活文化学科　子ども生活専攻
氏　　名	高橋　恵美
担当科目	保育内容総論、保育内容（環境）、保育内容の指導法、保育の計画と評価、保育の実技と演習、保育・教職実践演習（オムニバス）、教育・保育方法論（オムニバス）、保育実習指導Ⅰ・Ⅱ（オムニバス）、教育実習（事前事後指導含む）（オムニバス）、生活文化各論（オムニバス）、保育学（大）

考察及び改善点について

担当科目数が増えたため、授業準備やレポートの添削等に掛かる時間の確保も必要であった。しかし、資料作成や解説においても、教育効果が高まるよう毎回工夫を凝らし、実施するよう努めた。

授業参観回数　前期：　1　　後期：　1	
他教員の授業参観有無　　無し	FD セミナーでの報告（発表）の有無　　無し

学科専攻	生活文化学科　子ども生活専攻
氏　　名	武田　早苗
担当科目	保育内容（表現Ⅰ）、子どもと造形表現、スタディスキルズ（オムニバス）、生活文化各論（オムニバス）、キャリアアップセミナー（オムニバス）

考察及び改善点について

造形表現に関する教科については、実技内容が多く、学生自身が楽しみながら授業に参加していた様子が伺え、アンケート結果も概ね良い評価であったが、学びを深めるためには、実技を通して理論的な内容を体感的に理解できるようにするには、工夫がもう少し必要であったと感じた。

スタディスキルズ、生活文化各論については各回の授業者の専門性が発揮され、充実した内容で構成することができた。

授業参観回数　前期：　1　　後期：　0	
他教員の授業参観有無　　無し	FD セミナーでの報告（発表）の有無　　無し

学科専攻	生活文化学科　子ども生活専攻
氏　　名	廣瀬　団
担当科目	健康スポーツⅠ・Ⅱ、保育内容（健康）、子どもと健康、レクリエーション論、生活文化各論（オムニバス）、保育実習指導Ⅱ（オムニバス）

考察及び改善点について

　授業を通して、なぜ健康を維持することが日常生活において必要とされているのか、健康とは何か学生が考える機会を提供し、学生自らが健康を意識し、睡眠、食事、運動をバランスよくとることができるように様々な話題を提供した。また、運動を通して心身のリフレッシュができるように、レクリエーション活動を用いて、授業を行った。

授業参観回数　前期:　1　　後期:　0	
他教員の授業参観有無　無し	FD セミナーでの報告（発表）の有無　無し

学科専攻	生活文化学科　食物栄養学専攻
氏　　名	益田 裕司
担当科目	給食管理学、給食管理実習Ⅰ・Ⅱ、給食管理実習Ⅲ（校外実習）、給食管理基礎演習Ⅰ・Ⅱ、栄養士基礎演習、臨床栄養学実習、ライフステージ栄養学実習Ⅱ（オムニバス）、スタディスキルズ（オムニバス）、キャリアアップセミナー（オムニバス）、生活文化各論（オムニバス）、特別演習（オムニバス）、食生活支援論（オムニバス）

考察及び改善点について

　私が担当している科目は主に、給食の提供に関わる分野の授業であり、学生が卒業後に栄養士として勤務する際、即実務に繋がる分野とも言える。このことから、授業での学びはより実践的な内容にするため、できるだけ「学びやすい環境」を整えることを意識している。具体的には、学生が意見したり質問しやすい雰囲気を作り、そこから最終的には自分で判断して行動できるよう指導している。
　今年度の授業改善アンケートにおいては概ね良好な結果が得られたことから、授業の手法としては妥当であった判断している。ただし、在学生、新入生の人数が低減していることを踏まえると実習授業においては、これまでと同様の流れで実施しにくい場面も出てくることが予想される。この点には十分に配慮し、これまでと同様、学生にとっての「学びやすい環境」を維持できるよう工夫を重ねたい。

授業参観回数　前期:　0　　後期:　1	
他教員の授業参観有無　無し	FD セミナーでの報告（発表）の有無　無し

学科専攻	生活文化学科　子ども生活専攻
氏　　名	米川 純子
担当科目	子ども家庭福祉論、社会的養護Ⅱ、教育・保育相談、子ども家庭支援の心理学、子ども理解の理論と方法、発達心理学、生活文化各論（オムニバス）、保育実習Ⅰ・Ⅱ、教育実習、ピアヘルパー演習（オムニバス）

考察及び改善点について

専門の心理学領域の科目に関して、授業評価として 4.0 以上ではあったものの、例年になく学生からの授業評価としては理解がそれほど深まったようではなかったので、学生の理解度をはかりながら授業内容をもっと工夫すべき点があったように反省した。

2 年生からの授業評価は全て 4.5 以上の評価ではあったので、保育全体の教科の理解ができてこそ、その周辺にある専門の心理学の内容が理解できていくのかとも感じた。

授業参観回数　前期:　0　　後期:　0	
他教員の授業参観有無　無し	FD セミナーでの報告（発表）の有無　無し

おわりに

本年度も、FD 委員会の活動にご協力いただきました教職員の皆様に、心より御礼申し上げます。

大学・短大を取り巻く環境は年々厳しくなっておりますが、その中でも学生一人ひとりの学びをより豊かなものにするためには、教員自身が学び続ける姿勢を持ち続けることが不可欠です。本年度の FD 活動も「授業評価アンケート」「公開授業」「教員等セミナー」を中心に、教育の質向上に向けた取り組みを進めてまいりました。授業評価アンケートでは、回答率向上を図った紙媒体での実施により、何と平均回答率は大学 84.4%、短大 87.2%をあげることができました。莫大な負担をおかけした集計担当の委員に深甚の謝意を表します。また、公開授業や教員等セミナーにおける優秀授業の紹介は、優れた授業の実際に触れ、各教員が自らの授業を振り返り、改善につなげる有効な機会となりました。授業の質向上は大学にとって重要な責務であり、授業評価アンケートならびにこれらの FD 活動がその遂行の糧となることを期待します。

さらに今後の重要な課題として、急速に発達する生成 AI の授業への影響、教育活動への導入・活用についても、学務関連の各委員会で重要な検討課題として取り組んでいきたいと思っています。

最後に、本活動報告書の作成にあたりご尽力いただくとともに、日々の教育活動にご尽力いただいているすべての教職員の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部

令和 7 年度 FD 委員会委員長　鈴木　裕行

令和 7(2025)度FD活動報告書

編集　東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部 FD委員会

発行 学校法人 三島学園

〒981-8585 仙台市泉区虹の丘1丁目 18-2　電話　022-272-7511　FAX　022-301-5602

令和 8 年(2026)年 9 月発行